

ポスターセッション (Postersession)

1 防災研究									
申込受付 番号 Reg. No.	ポスター番 号 Poster No.	団体名 Name of Organization (Japanese)	ポスタータイトル Title(Japanese)	ポスター概要 Abstract (Japanese)	電話(所在地) Tel	FAX(所在地) Fax	E-mail(所在地) E-mail	URL	
PS001	A19-101	京都大学大学院 地球環境学舎			81-75-753-5708	81-75-753-5708	shaw@global.mbox.media.kyot o-u.ac.jp		
PS002	A19-102	京都大学大学院 地球環境学舎			81-75-753-5708	81-75-753-5708	axf187@yahoo.co.jp		
PS004	A19-103	国連人道問題調 整事務所(OCHA)					odaka@un.org	http://www.reliefweb.int	
30008	A19-104	文部科学省	地震調査研究推進本部の取 り組みについて	政府の地震調査研究推進本部において、これまで公表した地震に関する分析・評価結果(長期評価、強震動評価、地震動予測地図の試作版など)について、パネル 等の展示により、一般参加者に紹介する。	03-6734-4138	03-6734-4139	abe@mext.go.jp	http://www.mext.go.jp/	
PS005	A19-105	防災研究センター			511-2210251	511-2220762	gilberto@predes.org.pe		
PS006	A19-106	防災研究センター			511-2210251	511-2220762	gilberto@predes.org.pe		
PS007	A19-107	京都大学大学院 地球環境学舎			075-753-4806	075-753-4806	ed.hoang@archi.kyoto-u.ac.jp		
PS013	A19-108	スイス連邦雪・雪 崩研究所(SLF)			+41 - 81 - 417 0201	+41 - 81 - 417 0823	Dannenmann@slf.ch	http://www.slf.ch	
PS014	A19-109	フォーカス・ヒュー マニテリアン・アシ スタンスUSA			1-703-4423212		office@focushorog.automail.c om		
PS015	A19-110	フォーカス・ヒュー マニテリアン・アシ スタンスUSA			1-703-4423212		office@focushorog.automail.c om		
30005	A19-111	東京消防庁	震災対策に関する調査研究	地震に伴って発生する火災の延焼拡大を防ぐためには、地域ごとの出火危険や延焼性状態を的確に把握し、その地域に最も適した対策を講ずることが必要です。こ のため、定期的に地域別の出火・延焼危険度を測定しています。	03-3212-2111	03-3213-1478	S6000009@section.metro.toky o.jp		
PS019	A19-112	ケア・バングラディ シュ			(880-41) 761 250 Extn: 101	(880-2) 811 4183	carervcc@khulna.bangla.net		

ポスターセッション (Postersession)

1 防災研究									
申込受付番号 Reg. No.	ポスター番号 Poster No.	団体名(和文) Name of Organization (Japanese)	ポスタータイトル(和文) Title(Japanese)	ポスター概要(和文) Abstract (Japanese)	電話(所在地) Tel	FAX(所在地) Fax	E-mail(所在地) E-mail	URL	
30011	A19-113	森林総合研究所	人工降雨による崩壊・土石流再現実験	風化花崗岩の自然斜面において人工降雨による現地崩壊実験を行った。降雨強度78mm/hの降雨を与え6時間50分で崩壊が発生し、急速に流動化して土石流となり約30m流下した。自然斜面における崩壊発生時の間隙水圧の変動と流動化の状況が初めて確認された。	029-873-3211	029-874-3720	ochi@ffpri.affrc.go.jp	http://www.ffpri.affrc.go.jp	
30012	A19-114	森林総合研究所	情報通信技術を活用した地すべり総合管理手法の開発	高速道路や鉄道などの重要な保全対象が存在する地すべり地では、対策工事の概成後も長期にわたって地すべり施工跡地を維持・管理する必要がある。そこで近年著しい発達を遂げているネットワーク技術やGIS(地理情報システム)を活用した地すべりの総合管理手法を開発した。本手法は地すべり地の挙動を監視する自動観測システムを軸とし、関係機関とネットワークで結ばれている。そのため遠隔地の機関においても常に最新の地すべり挙動を把握することができる。また、地すべり地における地質調査や対策工事に関する情報をGISを用いて一元管理している。本システムは、地域の防災対策に活用されているので、これを紹介する。	029-873-3211	029-874-3720	matsu03@ffpri.affrc.go.jp	http://www.ffpri.affrc.go.jp/	
30013	A19-115	森林総合研究所	三宅島火山降灰地帯の土壌侵食実態に関する実証的研究	2000年の三宅島火山活動による多量の降灰で雄山山麓の植生は増進的被害を受け、現在も泥流や土壌侵食の危険性は非常に高い状態にある。このような火山降灰後の土壌侵食の実態を実証的に明らかにすることを目的として本研究を行った。土壌侵食の発生状況は降灰による森林被害の程度と相関性があるので空中写真による森林被害区分を行い、各区分において現地水路侵食実験により侵食特性を検討した。その結果、降灰が堆積した地表は流速が早く(透水性が低いこと、しかし流出土砂量は降灰層中に枝葉が混入した地区よりも少ないこと等が示された。さらに、汎用土壌侵食式(USLE)を用いて相対的な土壌侵食の危険度マップを提示した。	029-873-3211	029-874-3720	kazuab@ffpri.affrc.go.jp		
PS027	A19-116	ドイツ連邦地球科学・天然資源研究所(BGR)			49-511-643-3007	49-511-643-2403	friedrich.kuehn@bgr.de		
PS028	A19-117	ドイツ連邦地球科学・天然資源研究所(BGR)			49-511-643-2691	49-511-643-2403	D.Kuhn@bgr.de		
PS029	A19-118	ドイツ連邦地球科学・天然資源研究所(BGR)			49-511-643-2371	49-511-643-2403	U.Ranke@bgr.de		
PS030	A19-119	災害管理・リスク軽減技術センター(CEDIM)			++49-(0)331-288-1200	++49-(0)331-288-1204	zschau@gfz-potsdam.de	http://www.cedim.de	
PS040	A19-120	世界気象機関(WMO)			022-7308958	022-7308023	pla@wmo.int	http://www.wmo.int	
30026	A19-121	関西学院大学	関西学院大学災害復興制度研究所	阪神・淡路大震災10周年にあたる2005年1月17日に創設する「関西学院大学災害復興制度研究所」の概要を展示・報告します。この研究所は、大震災の被災地にある大学として2004年1月に発足させた「災害復興制度研究プロジェクト」の研究拠点となるもので、兵庫県を始め全国の災害復興リーダー・研究者・有識者と連携し、全国で初めて人文・社会科学の視点から21世紀成熟社会における「復興」の理念、くらし・まち・すまいこころの復興に関する研究を進め、5年後をめどに「災害復興基本法」の提案提案を含む報告書を発表することを目指しています。	0798-54-6104	0798-54-6905	research@kgo.kwansei.ac.jp	http://www.kwansei.ac.jp	
PS042	A19-122	国立市民防衛研究所(INDECI)			511 476-4834	511 440-7197	jkuroiwh@infonegocio.net.pe	www.disasterreductionj.com	
PS043	A19-123	アフリカン・ユース・ムーブメント(AYM)			234-8023292432	234-85-203840	africanyouthforum@yahoo.com	www.virtualglobe.org/en/index.html	
30031	A19-124	鳥取県	鳥取県西部地震における鳥取県の活動記録	平成12年10月6日午後1時30分に鳥取県西部を震源とするマグニチュード7.3の地震が発生し、鳥取県境港市及び日野町で震度6強を記録するなど、中国、四国、近畿地方を中心に関東地方から九州地方にかけて震度1～6強を観測した。この地震により、鳥取県西部地区を中心に県内各地で非常に大きな被害が発生した。鳥取県では、県知事を本部長とする鳥取県災害対策本部を設置し応急対応を行うとともに、居住する住宅が被災した住民のために、住宅の建設・補修等の経費を補助する「鳥取県西部地震被災者向け住宅復興補助金」など様々な支援施策を実施した。これら鳥取県の活動の概要を紹介する。	0857-26-7873	0857-26-8137	bousai@pref.tottori.jp	http://www.pref.tottori.jp/	

ポスターセッション (Postersession)

1 防災研究

申込受付番号 Reg. No.	ポスター番号 Poster No.	団体名(和文) Name of Organization (Japanese)	ポスタータイトル(和文) Title(Japanese)	ポスター概要(和文) Abstract (Japanese)	電話(所在地) Tel	FAX(所在地) Fax	E-mail(所在地) E-mail	URL
PS046	A19-125	国際連合大学 (UNU)			81-3-3499-2811	81-3-3406-7347	herath@rq.unu.edu	http://www.unu.edu
PS047	A19-126	国際連合大学 (UNU)			81-3-3499-2811	81-3-3406-7347	herath@hq.unu.edu	http://www.unu.edu
PS048	A19-127	ロシア非常事態省 (EMERCOM)			7-095-449-37-88	7-095-443-84-85	veselov@mchs.gov.ru	
30027	A19-128	株式会社ウェザー コック	防災・災害対策に役立つウェ ザーコックの数値データを用 いた高精度立体模型	ウェザーコックの高精度立体地形模型は防災・環境保全への貢献をします。弊社は、先進のテクノロジーを駆使した模型作りを推し進めます。数値データを用いて自動 的に印刷成型します。コンピュータで制作した防災計画などを直接印刷することが出来ます。これまでの手作業とは違やかに精度の高い模型です。防災や災害 対策の現場で、シミュレーションが可能です。対策を考える際のコミュニケーションツールになります。このような技術開発が新たなステージへと運びます。すでにさま ざまな研究のツールとして使われています。実際の地形と変わらない高精度の模型を製作できることが、未来予測という分野にまで到達しました。	011-852-1623	011-855-8366	k- yamamoto@weathercock.co.jp	http://www.weathercock.co.jp
PS051	A19-129	イタリア政府市民 保護局			39 06 6820 2713	39 06 6820 2877	Pierluigi.Sobbu@protezioneciv ile.it	http://www.worldbank.org

2 震災対策技術

申込受付番号 Reg. No.	ポスター番号 Poster No.	団体名(和文) Name of Organization (Japanese)	ポスタータイトル(和文) Title(Japanese)	ポスター概要(和文) Abstract (Japanese)	電話(所在地) Tel	FAX(所在地) Fax	E-mail(所在地) E-mail	URL
30015	B20-101	板硝子協会	災害に強く安全なガラス	ガラスの破損事故による事故事例・災害に強く安全なガラスの説明	03-3212-8631	03-3216-3726	nishimura@itakyo.or.jp	http://www.itakyo.or.jp
PS012	B20-102	共同研究セン ター.ispra			++39.0332.786708	++39.0332.789392	miranda.dandoulaki@irc.it	http://rav.jrc.it
30001	B20-103	(有)クラスタワ ンコーポレーション	震災時の飲料水の確保につ いて	1.一般家庭で震災時に家庭用浄水器を用いて、風呂の残り湯、ため池の水、プールの水などを利用して安全な飲料水を確保する。2.携帯ポンプを利用して飲料	0537-21-0707	0537-24-0803	pure0808@khaki.plala.or.jp	
30010	B20-104	(社)日本建築構 造技術者協会関 西支部	伝統構法を生かす木造耐震 設計マニュアル	伝統構法を含む木造軸組の耐震性能を簡潔に評価する方法を示す。等価線形化法に基づく動的解析は地震応答スペクトルを用いることで崩壊を含む広範囲の変形 領域における簡潔な評価が可能である。従来の壁倍率法は主として弾性範囲の評価であったので、木造軸組の損傷評価やダンパー補強の導入には不向きであ った。しかしここで示す設計法では伝統構法の耐震要素やダンパー補強などの評価が容易にできる。木造軸組の荷重-変形関係は、ほぞ仕口、筋かい、土壁、粘弾性 ダンパーなどを含む振動実験に基づいている。当該設計法はJSCA関西のワーキングメンバーで実用化し、日本国内で500棟以上の建物に用いられている。	06-6446-6223	06-6446-6224	jscaweb@kansai.email.ne.jp	http://www.mmj.or.jp/jsc a-kansai
PS020	B20-105	ロシア非常事態省 (EMERCOM)附属 全ロシア市民防 衛・非常事態問題 研究所(連邦科学 高等技術セン ター)			7-095-443-83-44	7-095-443-83-15	emercom@mchs.gov.ru	http://www.ampe.ru
PS021	B20-106	ロシア非常事態省 (EMERCOM)附属 全ロシア市民防 衛・非常事態問題 研究所(連邦科学 高等技術セン ター)			7-095-443-83-44	7-095-443-83-15	emercom@mchs.gov.ru	www.ampe.ru

ポスターセッション (Postersession)

2 震災対策技術									
申込受付 番号	ポスター 番号	団体名(和文)	ポスタータイトル(和文)	ポスター概要(和文)	電話(所在地)	FAX(所在地)	E-mail(所在地)	URL	
Reg. No.	Poster No.	Name of Organization (Japanese)	Title(Japanese)	Abstract (Japanese)	Tel	Fax	E-mail		
PS022	B20-107	ロシア非常事態省 (EMERCOM)附属 全ロシア市民防 衛・非常事態問題 研究所(連邦科学 高等技術セン ター)			7-095-443-83-44	7-095-443-83-15	emercom@mchs.gov.ru	http://www.ampe.ru	
30006	B20-108	全国移動無線セ ンター協議会	災害現場で活躍する mcAccess	mcAccess (MCA: Multi Channel Access System) は、広域性に加え、堅牢な無線中継局や優先接続機能等の備えにより、災害時に強い優れた移動通信システムです。これまで、阪神・淡路大震災、北海道有珠山噴火災害、三陸南地震等で救援活動等に利用され、その威力を発揮してきました。本展示では、その活動の実態と機能について紹介します。	03-5323-5266	03-5323-5540	info@nmrcc.gr.jp	www.nmrcc.gr.jp	
30004	B20-109	東京消防庁	震災対策システムの開発	震災消防活動支援システムは、地震発生直後の地震計観測情報を初め、火災、救助・救急等の消防活動に係る各種の情報を一括管理し、迅速かつ効率的な震災消防活動を支援することを目的に平成10年度より整備を進めています。本システムでは、震災消防活動に係る各種情報を電子地図上で管理し、入力された情報が全庁ネットワーク機能により、隣接消防署、方面本部及び警防本部等の画面上でも確認できるため、情報の共有化が図られ、広域的な被害情報を踏まえた的確な活動判断が可能となります。	03-3212-2111	03-3213-1478	S6000009@section.metro.tokyo.jp		
PS044	B20-110	地震計画・防災機 関(E.P.P.O.)			+30 210 67 28000	+30 210 67 79561	akourou@oasp.gr	http://www.oasp.gr	
PS045	B20-111	地震計画・防災機 関(E.P.P.O.)			+30 210 67 28000	+30 210 67 79561	thomatheka@oasp.gr	www.oasp.gr	
30020	B20-112	三菱樹脂株式会 社	火事にも耐える防災ガラス All In One Glassマルチプロッ ク	防災ガラスは、割れても建物から飛散・脱落しないので、ガラスによる怪我を防ぎ、かつ風雨から室内も守ります。個人住宅はもちろん避難場所や病院などに大変適したガラスです。しかし、これまでの防災ガラスには防火機能が無く、一度火災が発生すると防火機能が消失してしまいます。樹脂加工のトップメーカーである三菱樹脂が開発した特殊中間膜を使用した「Multi-Block」は、火災にも耐え、火災の熱を遮断して避難時間を確保し易くする防災ガラスです。防火、安全、防犯、防災、防音と、窓材に求められる全ての機能を併せ持つ新しいタイプの合わせガラスを三菱樹脂が世界に先駆けて発表致します。05年1月18日発売開始	03-3834-8804	03-3834-8845	mpi0972@cc.mpi.co.jp	http://www.mpi.co.jp	
30021	B20-113	(社)日本建築構 造技術者協会	(社)日本建築構造技術者協 会	(社)日本建築構造技術者協会(JSCA)とは、1989年に「社会に貢献する建築構造技術者集団」として設立された公益法人です。耐震診断・補強に関する技術資料・情報を提供する事により、会員の技術力向上と業務の便宜を図り、活動を通じて建築界全体の技術力向上に寄与している。また、建築構士は、的確な技術力と判断力により、構造計画の立案から構造の設計図書迄を統括し、構造の監理業務も併せて行う。阪神淡路大震災直後の建物の被災調査から補修・復旧・復興に対する多数の仕事に関係し、学会や協会、行政の調査、診断、耐震指針の作成、評価業務等にも参画し、継続的に調査・研究を行っている。建築構士の技術と活動の公開。	03-3262-8498	03-3262-8486	info@jsca.or.jp	http://www.jsca.or.jp	
3 災害医療									
申込受付 番号	ポスター 番号	団体名(和文)	ポスタータイトル(和文)	ポスター概要(和文)	電話(所在地)	FAX(所在地)	E-mail(所在地)	URL	
Reg. No.	Poster No.	Name of Organization (Japanese)	Title(Japanese)	Abstract (Japanese)	Tel	Fax	E-mail		
30002	B20-201	WHO健康開発総 合研究センター	災害の健康への影響	1995年に設立されたWHO健康開発総合研究センター(WKC)は、世界保健機関(WHO)本部直轄の研究機関として、社会、経済、環境や技術面での変化が及ぼす健康への影響、またそれらの保健政策への反映について研究を行い、WHOが重視する保健問題への取組に学際的・多部門からの協力を進めています。WHOでは、身体、生物、そして社会環境に影響を及ぼし、人間の健康、福祉、そして生命に危険をもたらす、非常事態や災害による環境衛生の問題に取り組んでいます。(例えば、避難所、水、衛生、環境汚染等。)この度のポスターセッションでは、緊急事態への対応に関する人々の意識を高めるために、WHOの関連資料を展示します。	078-230-3100	078-230-3178	uedak@who.or.jp	http://www.who.or.jp/	
30028	B20-202	(社)兵庫県医師 会	災害医療の3T	「災害時の救急医療に際して、三つのTが重要である」と言われている。Triage, Transportation, Treatmentの三つのTである。・阪神・淡路大震災では、とりわけTriageが不十分で、医療機関が「存分の力を発揮出来ずに終わった」と嘆く(事がある)。「持てる力を発揮せずに終わった」のは、米軍の空母も其の中の一つである。・市民病院クラス診療の医療能力とへりによる機動力、消化能力を持ち、直ちに「出勤しよう」との意思を持ちながら出番がないままであった。・三つのTを分かり易く、また其の重要な事をポスターにする。	078-575-3956	078-578-0561	rohken-seikoh@nifty.com		

3 災害医療									
申込受付 番号 Reg. No.	ポスター番 号 Poster No.	団体名(和文) Name of Organization (Japanese)	ポスタータイトル(和文) Title(Japanese)	ポスター概要(和文) Abstract (Japanese)	電話(所在地) Tel	FAX(所在地) Fax	E-mail(所在地) E-mail	URL	
30034	B20-203	兵庫県立大学 看護学研究所 21世紀COEプログラム	災害後の中・長期的な健康ニーズとケア方略	兵庫県立大学看護学部は、平成15年に文部科学省から21世紀COEプログラムの採択を受け、「ユビキタス社会における災害看護拠点の形成」というテーマで研究・教育活動を行っている。このプログラムの目的は、災害発生後の中・長期的な視野にたち、人々や地域の健康再生力を構築することである。本ポスターセッションでは、下記の2点を提示し、参加された方々と意見交換を行いたいと考えている。…1. 健康再生力を作り出すための支援… 1)災害時に支援ニーズの高い人々に対して… 災害時支援ニーズの高い人々が自分の健康を守る方法(母性・慢性疾患のある方等)… 2)看護者に対して:災害時に支援ニーズの高い人々に対するケア方法… 3)一般の方々に対して:災害時に命を生活を守る方法… 2. 情報通信技術を用いた災害への備え。	078-925-9440	078-925-9440		http://www.coe-cnias.jp/index.html	
4 国際協力									
申込受付 番号 Reg. No.	ポスター番 号 Poster No.	団体名(和文) Name of Organization (Japanese)	ポスタータイトル(和文) Title(Japanese)	ポスター概要(和文) Abstract (Japanese)	電話(所在地) Tel	FAX(所在地) Fax	E-mail(所在地) E-mail	URL	
PS009	B20-301	国際赤十字・赤新月社連盟(IFRC)			+41 22 730 4488	+ 41 22 733 0395	Amy.mintz@ifrc.org	http://www.ifrc.org	
PS010	B20-302	アジア防災・災害救援ネットワーク(ADRRN)			+ 81 78 262 5550/5551	+ 81 78 262 5554	izumi@un.org.my / president@mercy.org.my	http://www.adrrn.net	
PS032	B20-303	世界火災モニタリングセンター(GFMC)			49-761-808011	49-761-808012	johann.goldammer@fire.uni-freiburg.de	http://www.fire.uni-freiburg.de/	
PS036	B20-304	ドイツ防災委員会(DKKV)・ドイツ技術協力協会(GTZ)			++49 (0)6196 79 4218	++49 (0)6196 79 6170	mario.donga@gtz.de		
PS037	B20-305	ドイツ防災委員会(DKKV)・ドイツ技術協力協会(GTZ)			++49 (0)6196 79 4218	++49 (0)6196 79 6170	mario.donga@gtz.de		
PS038	B20-306	ドイツ防災委員会(DKKV)・ドイツ技術協力協会(GTZ)			++49 (0)6196 79 4218	++49 (0)6196 79 6170	mario.donga@gtz.de		
PS039	B20-307	ドイツ防災委員会(DKKV)			79-228-2434826	49-228-2434836	Birgit.zum.kley@inwent.org	http://www.dkkv.org	
5 地域防災									
申込受付 番号 Reg. No.	ポスター番 号 Poster No.	団体名(和文) Name of Organization (Japanese)	ポスタータイトル(和文) Title(Japanese)	ポスター概要(和文) Abstract (Japanese)	電話(所在地) Tel	FAX(所在地) Fax	E-mail(所在地) E-mail	URL	
PS016	C21-101	ジオハザード・インターナショナル(GHI)			1(650) 614-9050	1 (650) 614-0951	petal@geohaz.org	http://www.geohaz.org	

5 地域防災									
申込受付 番号 Reg. No.	ポスター番 号 Poster No.	団体名 Name of Organization (Japanese)	ポスタータイトル Title(Japanese)	ポスター概要 Abstract (Japanese)	電話(所在地) Tel	FAX(所在地) Fax	E-mail(所在地) E-mail	URL	
PS017	C21-102	ボアジチ大学カン デリ観測所・地震 研究所「防災教育 プロジェクト」			90 (216) 308-0511/345	90 (216) 332-9094	sulgen@imagins.com	http://www.ahep.org	
PS018	C21-103	バングラディシュ 開発評議会(BUP)			(8802) 885 3958	(8802) 885 0036	ahsan@bup-bd.org		
30032	C21-104	関西学院ヒューマ ンサービスセン ター	防災マップ	阪神・淡路大震災のときの震災救援ボランティアから日常ボランティアへ展開していった内容をグラフや図で表現する。特に現在取り組んでいる防災マップは、普段通っている通学路や自宅の周りにさまざまな防災施設があることを気づいてもらうために、西宮市立上ヶ原小学校の学童保育の子供たちと一緒に警察、消防署、水道局、公民館へ出向き、職員の方から話を聞いたり、写真を撮ったりして、模造紙の真ん中に張った地図に、写真や説明文を落とし込んで作成している。	0798-54-6400	0798-54-6118	mtabuchi@kwansei.ac.jp		
PS033	C21-105	ドイツ防災委員会 (DKKV)・ドイツ技 術協力委員会 (GTZ)			++49 (0)6196 79 4218	++49 (0)6196 79 6170	mario.donga@gtz.de		
PS034	C21-106	ドイツ防災委員会 (DKKV)・ドイツ技 術協力委員会 (GTZ)			++49 (0)6196 79 4218	++49 (0)6196 79 6170	mario.donga@gtz.de		
PS035	C21-107	ドイツ防災委員会 (DKKV)・ドイツ技 術協力委員会 (GTZ)			++49 (0)6196 79 4218	++49 (0)6196 79 6170	mario.donga@gtz.de		
PS041	C21-108	アジア防災セン ター(ADRC)			81-78-262-5540	81-78-262-5546	rep@adrc.or.jp	http://www.adrc.or.jp	
PS049	C21-109	エクアドル地球物 理研究所			593 2 222 5655	593 2 256 7847	hyepes@igepn.edu.ec	http://www.igepn.edu.ec	
30003	C21-110	兵庫県震災復興 研究センター	大震災の教訓と検証	大震災から10年の復興過程を検証した成果を「大震災10年と災害列島」として、2004年12月に出版する。また同時に「大震災100の教訓」の英訳版も出版する。これらの成果物を国連防災世界会議に参加する国内外の人々に直接伝えることを目的に、展示を計画している。	078-371-4593	078-371-5985	td02-hrq@kh.rim.or.jp	http://shinsai.or.jp/hrc-qr/	

6 防災教育									
申込受付番号 Reg. No.	ポスター番号 Poster No.	団体名(和文) Name of Organization (Japanese)	ポスタータイトル(和文) Title(Japanese)	ポスター概要(和文) Abstract(Japanese)	電話(所在地) Tel	FAX(所在地) Fax	E-mail(所在地) E-mail	URL	
PS003	C21-201	京都大学大学院 地球環境学舎			81-75-753-5708	81-75-753-5708	shiwaku@ges.mbox.media.kyoto-u.ac.jp		
PS025	C21-202	国際教育・開発有 限会社			0049-30-254 82 - 117	0049-30-254 82 - 103	christina.kamlage@inwent.org	http://www.inwent.org	
PS031	C21-203	ポツダム地球(地 質)研究センター (ドイツ)			++49-(0)331-288-120	++49-(0)331-288-1204	zschau@gfz-potsdam.de	http://www.gfz-potsdam.de/pb2/welcome.html	

7 被災者支援									
申込受付番号 Reg. No.	ポスター番号 Poster No.	団体名(和文) Name of Organization (Japanese)	ポスタータイトル(和文) Title(Japanese)	ポスター概要(和文) Abstract(Japanese)	電話(所在地) Tel	FAX(所在地) Fax	E-mail(所在地) E-mail	URL	
PS008	D22-102	中間技術開発グ ループ:南アジア			0094-1-2829412	0094-1-2856188	ramithaw@itdg.sit.lk	http://www.itdg.org	
30007	D22-103	災害救援用ICタグ システム開発チ ーム	ICタグを用いた災害救援システムの研究開発	非接触で情報の書き込みや読み取りができる超小型電子装置「ICタグ」(RFID)を、被災情報収集へ応用する研究開発を紹介する。大規模災害時に被災地の状況や安否情報などを発信する「電子貼り紙」や、建設時から災害時を含めて取り壊しまでの建築物に関する情報を格納する「電子表札」などを紹介する。また、被災情報収集用の超小型サーバや、収集した被災情報を運び出すためのデジタル防災無線のIP化開発も併せて紹介する。本研究開発は、NPO国際レスキューシステム研究機構の協力の下で、独立行政法人情報通信研究機構、消防研究所、産業技術総合研究所、工科大学建築学科の共同チームによって進められている。	042-327-7461	042-327-6640	taki@nict.go.jp	http://takizawa.ne.jp/ddt/	
30016	D22-104	ワールドクリーン プロジェクト	ユースが考える防災・災害救援活動	私たちは発足以来、様々な環境の活動や災害時の救援活動に取り組んできました。災害の原因や災害の拡大の要因には環境破壊が大きく関わっています。活動の経験を通じ、私たち(ユース)が考え、行動すべき災害時の緊急救援活動のあり方が見えてきました。私達が新たに設立したIRNは、情報の重要性に注目し、地球規模で正確な情報収集をもとに、的確かつ迅速に災害救援活動に当たるための組織です。従来は見落とされがちな予防・抑制・監視を行うことにより早期に警報を発令し、災害発生時にもっとも大切とされる初期対応に速やかに着手し、地域と被災者の視点に立った救援活動と復旧に向けての活動を行っているというもので今回このIRNの発表を行います。			eros-jpn@worldcleanproject.org	http://www.worldcleanproject.org	
PS023	D22-105	市民災害復興セン ター			9299822	9299822	cdrc@i-manila.com.ph		
30019	D22-106	NPO法人都市防 災研究会	防災と福祉のまちづくり	7月に発生した新潟豪雨の被害は、総て高齢者を中心とする要援護者が犠牲となりました。・横浜市介護保険認定者は4年後には人口1000人に2人から3人になります。・大部分の方が災害時自力避難が困難な方です。・20年には、単身世帯が35の都道府県で世帯類型のトップになります。・同時に高齢者夫婦二人暮らしも増加しつつあります。・この事は防犯にも留守番の家の増加影響を与えています。・また、神戸の震災が新しい通電火災という災害も発生させました。・少子・高齢化の進行は、災害体験・災害文化の伝承にも影響を与えています。・コミュニティにおける防災・防犯・福祉のまちづくりが推進される事が重要です。	045-844-2885	045-844-2894	lisk@viola.ocn.ne.jp		
30022	D22-107	CODE海外災害援 助市民センター	CODEの活動	CODEは、阪神・淡路大震災以後KOBEの市民が行ってきた災害救援、復興支援活動の経験を活かし、被災地支援活動を行っている。アフガニスタン、イランの支援活動を中心に紹介する。	078-574-7744	078-576-3693	info@code-jp.org	http://www.code-jp.org/	

7 被災者支援									
申込受付番号 Reg. No.	ポスター番号 Poster No.	団体名(和文) Name of Organization (Japanese)	ポスタータイトル(和文) Title(Japanese)	ポスター概要(和文) Abstract (Japanese)	電話(所在地) Tel	FAX(所在地) Fax	E-mail(所在地) E-mail	URL	
PS024	D22-108	国際教育・開発有限会社			0049-30-254 82 - 117	0049-30-254 82 - 103	christina.kamlage@inwent.org	http://www.inwent.org	
PS026	D22-109	国際教育・開発有限会社			0049-30-254 82 - 117	0049-30-254 82 - 103	christina.kamlage@inwent.org	http://www.inwent.org	
30025	D22-110	市民とNGOの「防災」国際フォーラム	市民とNGOの「防災」国際フォーラム	2004年12月に行われた「震災10年 市民とNGOの「防災」国際フォーラム」の模様と成果を展示する。	078-574-0701	078-574-0702	ngo@pure.ne.jp		
30033	D22-111	関西広域連携協議会	「災害時帰宅支援ステーション」の展開とステッカーの掲出(仮題)	大規模災害時に、通勤、通学者や観光客などの帰宅困難による大量の滞留者の発生によりパニック等の二次災害や物資負担等の問題が予想されます。当協議会では、この問題を関西広域にわたる課題として検討を行い、平成14年3月にその成果を「災害時の昼間流入人口問題の解決に向けて」として報告書にまとめて公表しました。報告書では、避難・帰宅計画ルートを設定し、そのルートを安全に徒歩帰宅するための方策を提案するとともに、民間事業者の協力のもとに徒歩帰宅者に対する飲料水、道路情報などの提供やトイレの使用などの支援サービスを提供する帰宅支援施設の設置の必要性を提言しました。この提言の具体化の一環として、災害時の徒歩帰宅者への水道水やトイレ・道路情報の提供などの帰宅支援サービスについて、コンビニエンスストアやガソリンスタンドをはじめとする民間事業者等への積極的な協力を呼びかけるとともに、当該施設が災害時帰宅支援施設であることを広く住民に周知し、関西全体としての取り組みを促進するため、災害時帰宅支援施設に係るステッカー等の広報媒体作成にあたって統一基準についてガイドラインを定め、統一ロゴマーク及びモデル・デザインを作成しました。現在、関西域(2府6県・3政令市)において、コンビニエンスストア、ガソリンスタンドなどの民間事業者で、災害時帰宅支援に協力いただける店舗を「災害時帰宅支援ステーション」として、各店舗に統一ロゴマークを使用した「災害時帰宅支援ステーション・ステッカー」の掲出を推進しています。各事業者の協力を得て、統一ロゴマークを使用したステッカー掲出を関西広域で行うという全国で初めての取り組みです。	06-4803-5572	06-4803-5574	nomurat@kansai.gr.jp	http://www.kippo.or.jp/kc/index.asp	
8 ボランティア活動									
申込受付番号 Reg. No.	ポスター番号 Poster No.	団体名(和文) Name of Organization (Japanese)	ポスタータイトル(和文) Title(Japanese)	ポスター概要(和文) Abstract (Japanese)	電話(所在地) Tel	FAX(所在地) Fax	E-mail(所在地) E-mail	URL	
PS011	D22-201	アメリカン・フレンズ・サービス委員会			415-565-0201 extension 12	415-565-0204	smcneil@afsc.org	www.afsc.org/emap/about.htm	
30009	D22-202	東京いのちのポータルサイト	東京いのちのポータルサイト	世界中で地震のたびに多くの人々が亡くなっています。建物がはげしいゆれにたえきれず地震の直後に命がうしなわれています。地震のあとの救助活動はどうしても救えない人たちがいます。地震が引き起こすさまざまな問題の本当の原因をかんがえてみませんか、私たちは、大地震に備えて耐震補強の推進、防災シミュレーションやイベントの実施、防災政策提案をしています。	03-3203-1697	03-3203-2908	hkagiya@city.itabashi.tokyo.jp	http://www.tokyo-portal.info/	
30023	D22-203	特定非営利活動法人 明石インターネットパワーズ(AIP)	「被災者からのアクション」- インターネットを使った草の根防災 -	未曾有の大災害を体験した私たちは、「情報」を共有することが「防災安全」につながることを学び、そして、時、場所を越えて、市民の誰もが情報の発信者となり、同時に受信者となることのできる「インターネット」の重要性を再認識しました。私たちは、被災地・明石市を拠点に1997年、インターネットによるまちづくりを行う市民グループ「明石インターネットパワーズ」を結成(後にNPO法人格取得)、生存者確認情報の発信訓練のほか、当市において花火見物客ら258人が死傷した歩道橋事故の後、再開された明石市民まつりに対し携帯電話のウェブアクセス機能を活用した防災安全情報の提供などを行いました。	078-936-5095	078-936-5095	info@aip.jp	http://www.aip.jp/	
9 その他									
申込受付番号 Reg. No.	ポスター番号 Poster No.	団体名(和文) Name of Organization (Japanese)	ポスタータイトル(和文) Title(Japanese)	ポスター概要(和文) Abstract (Japanese)	電話(所在地) Tel	FAX(所在地) Fax	E-mail(所在地) E-mail	URL	
30014	D22-301	NPO法人大気イオン地震予測研究会 e-PISCO	大気イオン濃度の異常上昇、動物等の異常行動、地震活動の異常変化を用いた市民による市民のための地震予知	当団体は阪神淡路大震災の直後に設立されたNPOです(法人化は2004年)。我々の使命は、市民による、市民のための地震予知を実現することです。我々の地震予知には三本の柱があります。一つは大気イオン濃度の観測。大地震前に大気中のプラスイオン濃度が通常よりも上昇することが観測されており、独自開発の測定器を全国5か所に配置し、イオン濃度変化を観測しています。二つ目は、自然界などの前兆異常現象(宏観異常現象)の観測。三つ目は気象庁一元化震源を利用した各地の地震活動を監視です。これら三要素を時間的に重ね合わせて地震予知に迫ります。この観測結果はホームページで公開しており、自由にご覧いただけます。	086-256-6468	086-256-6468	wadatumi@e-pisco.jp	http://www.e-pisco.jp/	
30024	D22-302	神戸海洋気象台	気象庁の防災への取り組み	気象庁は気象、地震、津波、火山活動などの自然現象を常時監視するとともに、これらの現象に関する情報を発表しています。気象庁が発表する情報は、自然災害から国民の生命・財産を守るための防災気象情報のほか、交通の安全を支える交通安全情報、農業、電力、観光など各種産業活動を支援する産業情報、国民の日常生活に役立つ生活情報、さらには人類の将来に警鐘を鳴らす環境気象情報などがあり、各方面で多様な役割を果たしています。気象庁は、予報、警報、その他の情報を関係省庁や地方公共団体、報道機関などに提供することにより、災害の防止、交通安全の確保、産業の発展への寄与、国民生活の利便の向上を図っています。	078-222-8907	078-222-8942	nose@met.kishou.go.jp	http://www.kobe-jma.go.jp/	

ポスターセッション (Postersession)

9 その他								
申込受付 番号 Reg. No.	ポスター番 号 Poster No.	団体名(和文) Name of Organization (Japanese)	ポスタータイトル(和文) Title(Japanese)	ポスター概要(和文) Abstract (Japanese)	電話(所在地) Tel	FAX(所在地) Fax	E-mail(所在地) E-mail	URL
30030	D22-303	内閣府	富士山火山防災マップ	日本最大の火山である富士山のハザードマップが平成16年6月に完成した。通常火山ハザードマップは地方公共団体により作成されるが、富士山が噴火した場合には、広域的な災害が発生する可能性もあるため、内閣府を含む国の機関と地方公共団体が共同で作成した。これは日本での最初の事例である。	03-3501-5693	03-3501-5199	ytaira@op.cao.go.jp	http://www.bousai.go.jp/fujisan-kyougikai/
PS050	D22-304	世界銀行			81 3 3597 6650	81 3 3597 6695	anube@worldbank.org	http://www.worldbank.org